

教育支援ニュース

No.3

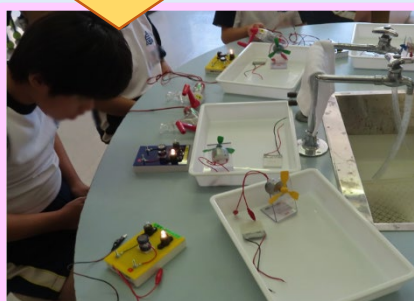
「エネルギー・環境と科学技術」の出前授業



福井チームでは、嶺北地区の小学校6年生を対象に「エネルギー・環境と科学技術」の出前授業を実施しています。今回はその授業の内容をご紹介します。

授業は、くらしの中の電気はどこから来るのか、どうやって作っているのか。エネルギー消費と資源について学び、さらに地球温暖化の問題を取り上げ、省エネや新しいエネルギーについても実験を交えて学んでいきます。

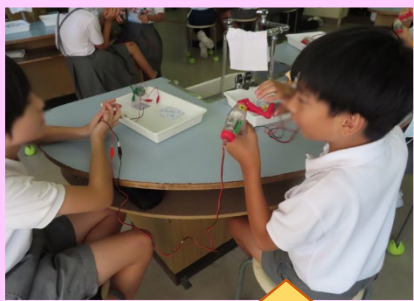
豆電球とLEDどちらが省エネかな？



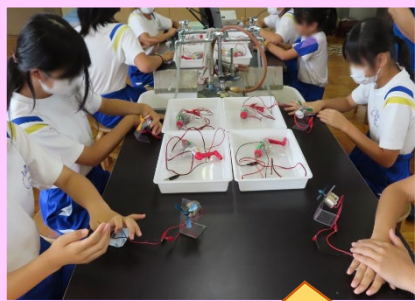
みんなで白熱電球を点灯させてみよう



サーモカメラで白熱電球とLEDの熱量を見てみよう



熱量発電の実験・1
ペルチェ素子を使って
《ペルチェ効果》を体験



熱量発電の実験・2
《ゼーベック効果》を利用して
フクロペラを回そう



燃料電池の車を走らせよう

児童の感想（授業後のアンケートより）

電気は私たちのくらしになくてはならないエネルギーということが分かりました。そのために節電をしたいしてエネルギーの使い方を
見直してみたいと思いました。



電気を使いすぎると地球温暖化が進んだりエネルギー資源が無くなったりしてしまうので工夫してくらしたいと思いました。今日の実験で環境問題に興味を持ちました。

